



IWATE BANK NEWS LETTER



平成28年2月24日

株式会社岩手銀行

株式会社北日本銀行

～「いわて産学連携推進協議会（リエゾナー I）」への取組み～ 「第13回リエゾナー I 研究開発事業化育成資金」贈呈について

岩手銀行（頭取 田口幸雄）、北日本銀行（頭取 佐藤安紀）では、両行が参画する「いわて産学連携推進協議会（リエゾナー I）」のおもな活動として取り組んでいる「研究開発事業化育成資金」贈呈事業について、第13回となる今年度の贈呈先が決定しましたのでご通知申し上げます。

記

1. 「いわて産学連携推進協議会（リエゾナー I）」について

(1) 大学等の研究シーズ（新たな技術等）と企業の技術・製品開発等のニーズをマッチングさせることにより新事業の創出を図ることを目的に、平成16年5月に設立しました。

現在、3金融機関と10研究機関が参画しています。

(2) おもな活動は、「リエゾナー I マッチングフェア」の開催、岩手県内の金融機関による「リエゾナー I 研究開発事業化育成資金」の贈呈等です。

2. リエゾナー I 研究開発事業化育成資金の贈呈について

(1) 創設目的

① 企業等が有する技術・製品開発等のニーズと大学等が有する高度な技術研究成果とを共同研究等を通じてマッチングさせることにより、「事業の多角化」や「新たなビジネス創出」を積極的に支援するものです。

② また、この育成資金を呼び水として、大学等にある「事業の芽」「技術の種」を企業等が事業化に向けて研究開発に積極的に取り組むことを期待するものです。

(2) 対象先

① 「リエゾナー I」に参画している研究機関との共同研究により新たな事業化を目指している企業等で、企業等の所在地域は、岩手県、青森県、秋田県、宮城県とします。

② なお、地域の中小企業支援の観点から、証券取引所上場会社およびそのグループ企業等は、原則として応募できません。



岩手銀行

国体パートナー・岩手銀行は、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を応援しています！





IWATE BANK NEWS LETTER



③ すでに受賞したことがある企業は原則として申請できませんが、つぎの条件を満たす場合のみ対象とします。

- a 過去に受賞した事業計画の内容と重複していないこと
- b 過去に受賞した事業がすべて事業化されていること

(3) 贈呈金額

- ① 年間贈呈額1, 500万円を上限とします。
- ② 1先あたり200万円を上限とします。

3. 今年度の贈呈について

(1) 贈呈先企業

10社に対し1, 250万円の贈呈を行いました。

なお、贈呈先は別紙『第13回リエゾン-I 研究開発事業化育成資金』贈呈先一覧』のとおりです。

(2) 現在までの贈呈状況

第1回から第13回までの贈呈件数金額は、延べ86件の1億1, 550万円となりました。

(3) 贈呈式の開催

平成28年2月24日(水)に岩手大学構内(コラボMIU)で開催され、金融機関を代表して岩手銀行田口頭取より10社の代表者に認定証の授与および目録の贈呈を行いました。

【贈呈式の様子：受賞企業の代表者とリエゾン-I 支援機関との記念撮影】



<本件に関するお問合せ先>

岩手銀行地域サポート部 曾 我 TEL: 019-624-8325
北日本銀行営業統括部 浅 沼 TEL: 019-626-6468



国体パートナー・岩手銀行は、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を応援しています!

岩手銀行



「第13回リエゾナー I 研究開発事業化育成資金」贈呈先一覧

(平成28年2月24日贈呈)

○ 株式会社 肉のふがね

代表者：代表取締役 府金 武一

住所：岩手県岩手郡岩手町大字沼宮内第7地割23

事業計画名：岩手県産日本短角種の特性を活かした熟成牛肉加工品の開発・販売とブランド構築

共同研究者：岩手大学 農学部 准教授 村元 隆行

計画の要約：短角種が持つ、「脂肪分が少なく、ヘルシーかつ旨味成分豊富な赤身肉」という特徴・特性を活かしつつ、熟成加工品として付加価値を向上させることを目的として、肉用牛生産者と食肉加工小売業者および学術研究者が連携し、また、製品品質の向上、検査においては東北農業研究センター、岩手県工業技術センター等と連携し、生産・製造の安定化を図り、ブランド構築へ結びつけるものである。

贈呈金額：200万円

○ 株式会社 佐幸本店

代表者：代表取締役 佐々木 茂

住所：岩手県久慈市小久慈町2丁目2-15

事業計画名：化粧品原料向けヤマブドウ樹液の販路開拓

共同研究者：岩手県工業技術センター 食品技術部 高橋 亨

計画の要約：1971年、国内初の山ぶどう無農薬栽培を開発した農園から、春先2週間のみ採取できる「山ぶどう樹液」は無色透明であり、その樹液は遊離アミノ酸等保湿性に優れた成分を保有している。岩手県工業技術センターおよび東京農工大学との共同研究で各種の分析、試験を行った結果、「保湿性・美白効果・シミの減少」等が立証された。この結果を根拠に、化粧品関係展示会に出品したところ、化粧品メーカーおよび化粧品原料商社から、「希少性」「付加価値の高さ」「化粧品原料としての優位性」を認めていただき、今後の販路開拓に向け高い評価をいただいた。ヤマブドウ栽培日本一を誇る岩手県として、他に先んじて「山ぶどう樹液」開発を進め、地域産業の発展に寄与すべく、販路の開拓を目指す計画である。

贈呈金額：150万円

○ 有限会社 Q-L i g h t s

代表者：取締役 栢田 剛

住所：岩手県花巻市二枚橋第5地割6-3

事業計画名：有機太陽電池の実用化に向けた「オール有機透明電極付きプラスチック基板」の開発

共同研究者：岩手大学 工学部 特任教授 対馬 登

計画の要約：太陽電池の普及拡大のための新たな技術革新が強く求められている中、薄くて軽く、壁面に設置できるなどの特徴をもつ「フレキシブル有機太陽電池」は、これに応える有望な技術である。本事業では、ナノインプリント技術の活用により有機太陽電池の実用化に特性面で有用であり、レアメタルを使用しない「オール有機透明電極膜付きプラスチック基板」の製品化を目指している。

贈呈金額：150万円

○ セルスペクト 株式会社

代表者：代表取締役 岩渕 拓也

住所：岩手県盛岡市北飯岡1丁目10-82

事業計画名：救急現場に適用できる双極性障害治療剤の過量服用鑑別POCTの開発

共同研究者：岩手医科大学 高度救命救急センター 助教 藤田 友嗣

計画の要約：リチウム製剤は、双極性障害の第一選択薬であるが、有効濃度である治療域と中毒域とが近接しているため、服用量管理のための血中リチウム濃度モニタリングが必要不可欠であるものの、技術的困難さから、モニタリング法が普及しておらず、リチウム中毒が多発している。本事業は、オンサイト分析が可能な小型迅速診断装置とリチウム測定試薬の開発を行い、救急部門や精神科外来などの迅速測定が必要な現場のニーズに応えるものである。

贈呈金額：150万円

○ 株式会社 イーアールアイ

代表者：代表取締役 水野 節郎

住所：岩手県盛岡市上堂3丁目8-44

事業計画名：屋内位置測位に最適なビーコン発信機の開発

共同研究者：岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 准教授 堀川 三好

計画の要約：2020年の東京オリンピックに向けて、屋内での実用的な測位システムの必要性が謳われているものの、人工衛星からの電波が届かない屋内では、GPSによる測位は利用できない。本事業では、ブルートゥース（スマートフォンに標準的に内蔵されている無線通信技術）発信機を利用して屋内での位置測位を行い、より高精度な位置測位を実現するため、安定した電波が発信できるブルートゥース発信機の開発を目指すものである。

贈呈金額：100万円

○ 株式会社 花耶

代表者：代表取締役 盛田 忠臣

住所：岩手県盛岡市本宮5丁目13-10

事業計画名：ビューティエキスパートシステムの開発

共同研究者：岩手大学 工学部 准教授 明石 卓也

計画の要約：本事業では、アルゴリズムに基づく顔分析により、顔パーツの検出と画像解析技術を活用し、客観的に熟練美容師と同じ顔分析ができるシステムを構築するものである。

贈呈金額：100万円

○ 株式会社 東邦テクノス

代表者：代表取締役 佐藤 孝一

住所：岩手県一関市滝沢字鶴ヶ沢7-64

事業計画名：レバー式片手駆動車いす駆動装置

共同研究者：岩手大学 工学部 助教 佐々木 誠

計画の要約：本事業では、上肢筋力が弱く従来型の車いすを利用できない方に向けて開発した「レバー式車いす駆動装置『e-arm』」をベースに開発し、車輪に駆動装置を取り付けることで、車いすの片手・片足による操縦を可能にしている。片手と片足による操作でも前進・旋回が容易にコントロールできることから、脳卒中の後遺症などにより片麻痺の症状がある方を対象としている。

贈呈金額：100万円

○ 東北資材工業 株式会社

代表者：代表取締役社長 藤原 則夫

住所：岩手県花巻市石鳥谷町好地第12地割28-1

事業計画名：表面改質を用いた発砲スチロールへの機能剤固着技術の応用

共同研究者：岩手大学 工学部 准教授 芝崎 祐二

計画の要約：本事業では、発砲スチロールビーズ表面を100 μ m未満の薄いスキン層で覆い、その中に難燃剤や防蟻剤（白アリ等の食害を防ぐために添加する薬剤）を高効率で固着する技術研究を行う。これにより、成型した発砲スチロール製品は、難燃性や防蟻性を示し、住宅や土木の埋め戻し等の材料として応用展開が見込まれており、また、この他にも様々な機能剤（紫外線劣化防止剤、抗菌剤等）を固着させることで、多様な製品を製造することが可能となる。
※ 当社では、既に防蟻剤入りの発砲スチロール製品の製造・販売を行っているが、薬剤が剥離しやすいため、予め添加量を増やしているのが実状であり、本研究により、歩留まり向上、安定生産を見込んでいる。

贈呈金額：100万円

○ 有限会社 三陸とれたて市場

代表者：代表取締役 八木 健一郎

住所：岩手県大船渡市三陸町越喜来字杉下75-8

事業計画名：情報を繋ぎ、資源価値を最大化するICT漁業プラットフォームの開発

共同研究者：岩手大学 農学部 教授 宇塚 雄次

岩手大学 工学部 助教 松山 克胤

計画の要約：震災から4年を経てハードの回復は進んだものの、旧来産業モデルでは漁村存続が果たせない構造的障害が各所で顕著化している。本事業により、消費現場に求められる機能を逆投影して産地側機能の再整備を行い、両者を「ICT技術」を用いて繋ぎ直すことで、これまで一方的であった「単純加工型製造業」から「オンデマンド型加工サービス産業」への業態転換を図るとともに、これらを可能とするサーバサイドプログラム群の開発を岩手大学と協働して行い、さらには水揚げ予測システムの精度を上げ、先物先加工取引が行える素地を育てるものである。

贈呈金額：100万円

○ 株式会社 佐原

代表者：代表取締役社長 佐原 芳樹

住所：岩手県一関市赤荻字亀田143

事業計画名：岩手県発信の省エネ快適空調換気システムの構築

共同研究者：岩手大学 工学部 教授 廣瀬 宏一、助教 福江 高志

岩手大学 農学部 教授 鎌田 洋一

計画の要約：現代における「熱を逃さない高断熱住宅の換気不足による空気汚染」と、「カビ・ダニの育成を助長する空気環境」により、健康被害の増加が懸念されているが、本事業では、岩手大学と共同研究を行っている、住宅内の温度差、風力、地熱の自然エネルギーを利用した通風と調湿技術により、夏季のエアコンに頼らない、省エネで住む人の健康維持を目的とした換気技術を開発するものである。

贈呈金額：100万円

以上